



日高山脈博物館だより

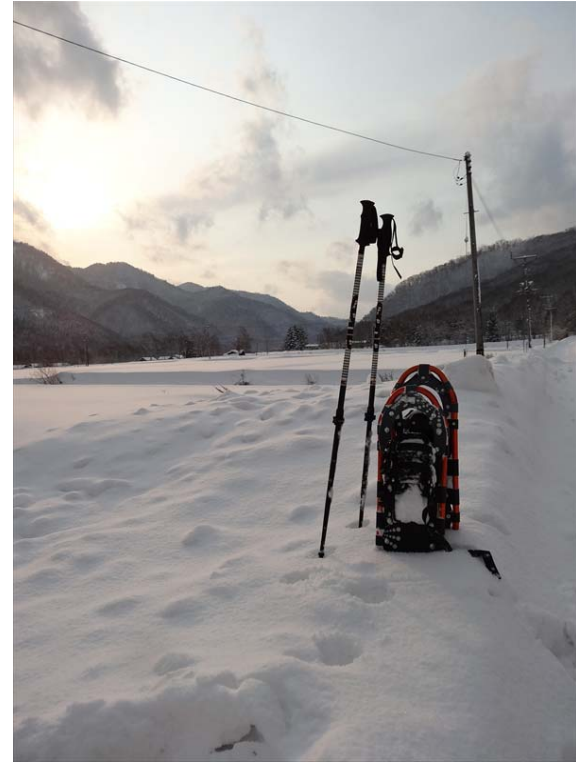
HIDAKA MOUNTAINS MUSEUM NEWSLETTER

通算 第54号 2019.2.

日高山脈自然体験隊 2018「スノーシューで冬の森を歩こう」開催します

今年度の日高山脈博物館自然体験事業、最終の事業です。

3月2日に、この時季恒例のスノーシューハイクを行ないます。スノーシューハイクでは、夏場などに立ち入ることが難しい場所でも、この時期の積雪を利用して、スノーシューをはいて立ち入ることができます。より深い感覚で冬の時期ならではの自然観察などができる、絶好の機会でもあります。雪上の足跡や、木の実、植物の芽吹きなど、この時期にしか観察できない自然の情報を読み取りながら、森林の中を散策してみます。



普段はよく見る景色も、積雪によって異なって見えたりもします。スノーシューハイクの楽しみ方のひとつでもあります。

日 時：3月2日（土）9時～13時

場 所：国立日高青少年自然の家に集合

（変更になる場合もあります）

講 師：石黒 誠 先生（自然写真家）

対 象：小学生以上 締 切：2月28日（木）

持ち物：野外活動の服装、飲み物、携行食など

道内学芸員の中では少数！
地質と岩石が専門の

日高山脈博物館学芸員の活動報告（1）

9月に、埋蔵文化財の石質鑑定依頼を受け、先方へ鑑定に赴きました。

9月12～14日にかけて、恵庭市郷土資料館から、埋蔵文化財の石質についての鑑定を依頼され、恵庭市郷土資料館にて鑑定を行ないました。縄文時代の遺跡から発掘された埋蔵文化財は、岩石を加工したものが多く、その岩石を明らかにすることで、入手先や現地との交流などを考察する重要な手がかりになるとのことです。恵庭市郷土資料館以外の埋蔵文化財の石質も鑑定しましたが、日高地区周辺でよく見られる岩石が大変多かったのが印象的でした。縄文時代、日高から各地へ材料となる岩石が運ばれていたのかもしれないね。



実体顕微鏡による石質鑑定を行ないました。

日高山脈博物館のホームページ上でも掲載しています。こちらでは、写真などがカラーとなっています。ぜひご利用下さい。⇒ ホームページ (<http://www.town.hidaka.hokkaido.jp/hmc/>) の新着情報からどうぞ。